



Vol.166
令和6年度4月号

伊豆沼2工区、3工区の堤防において野火(野焼き)が行われました。

3月16日(土)に伊豆沼漁協、伊豆沼土地改良区、新田北部土地改良区及び財団の共催で野火(野焼き)が行われました。野焼きは、ヨシ原など草原の遷移を防ぐ効果や日あたりを改善する効果があり、小型の植物の生育を助けます。さらに、害虫駆除の効果や新しいヨシの発芽を促すなどの効果もあるようです。

かつては葦簀(よしず)や刈敷(かりしき：肥料)などの生産の場として利用されてきたヨシ原ですが、近年では利用頻度の低下や担い手不足などの問題により、野焼きが減り、ヨシ原の管理放棄が目立つようになってきました。ヨシ原などに住む生き物を次の世代に引き継いでいくためにも、野焼きなどによる管理を維持する必要があります。



2工区野火前



2工区野火後



3工区野火前



3工区野火後



第62回 伊豆沼・内沼クリーンキャンペーンが開催されました



開会式の様子

今年度の伊豆沼・内沼クリーンキャンペーンは、春分の日(20日)の開催が悪天候で延期になり、3月23日(土)に開催されました。参加者441名(若柳、築館、迫会場の合計)が各サンクチュアリセンターに集まり、2時間の清掃活動で約1,000kgと、昨年の2倍ものゴミが集められました。参加された皆様、お疲れ様でした。



集まったゴミの分別作業



回収された廃棄物

栗原若柳ライオンズクラブ様より望遠鏡一式を寄贈いただきました

結成60周年を記念して、栗原若柳ライオンズクラブ様より望遠鏡一式を12月15日に寄贈いただきました。さっそくガンの飛び立ちを観察する体験講座などで活用させていただきました。



大切に活用させていただきます。

今年のガンカモ類の北帰行



ガンカモ類の北帰行は例年2月上旬に始まりませんが、暖冬だったため、例年より1ヶ月早く、1月上旬から始まり、2月上旬にはほぼ終了しました。しかしその後の寒波によって戻ってきた群れもあり、3月上旬もまとまった数が沼で見られるという、少し特異的な北帰行となりました。

オオハクチョウ・キヨシ(6C02)が秋田県能代市から青森県蓬田村へ北上したときのもの。一緒に飛ぶ6羽の仲間が奥に写っています(3月14日7時のキヨシからの画像、スワンププロジェクトより)



〒989-5504 宮城県栗原市若柳上畑岡敷味17-2
宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター
指定管理者 (公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

Tel0228-33-2216 Fax0228-33-2217
ホームページ:<http://izunuma.org/>
E-mail:izunuma@circus.ocn.ne.jp

